



MAEDAKOSEN

CONCRETE REINFORCEMENT

コンクリート構造物
補修・補強用資材

前田工織

CONCRETE REINFORCEMENT

コンクリート構造物
補修・補強用資材



INDEX

アラミド繊維シート（1方向／2方向）

1

高伸度繊維シート

2

カーボン繊維シート（1方向／2方向）

3

エポキシ樹脂

4

繊維シート仕上材

ハードメッシュ

5

FF-TCC工法

7

マグネライン

9

PP工法 PSR工法 PT工法

マグネラインMDD1／MDライトN／MDライトQ

11

マグネシーラー／マグネMDガード

12

PWモルタル／PW目地

13

FFグリッド

14

ボルトメイトTG

15

ボルトメイトHC

16

タイトロックⅡ TL-410

17

ボルトメイトエポEP-400J／EP-1500J

ボルトメイトエポマックス

ボルトメイトエポEP-1200／EP-1200P

19

ボルトメイトエポシールES-2000

20

ボルトメイトエポEP-450

21

MKロック

22

アバノン

23

テープ・接着剤製品

24

新製品 MKロック MK-1300

25

価格表

別紙

コンクリート補修・補強用シート
アラミド繊維シート
(1方向、2方向:アラミド1)

しなやかで強靭な非導電・非磁性
高い切削抵抗の補強用繊維シート

アラミド繊維シートは、強靭・柔軟でフィラメントが折れにくいなどの特長をもつ、コンクリート構造物の補修・補強用繊維シートです。含浸接着樹脂により既設コンクリート部材に接着するとともに、繊維間を結合し補強します。有機繊維で非導電性のため、電気障害を起こしません。



- 特長**
- 防弾チョッキにも使用されるアラミド繊維を使用し強靭です
 - 非導電性で鉄道・地下鉄・電気室等電気事故が懸念される現場での施工に最適です
 - 施工性に優れ、重機の使用もなくオフィスなどの「居ながら施工」も可能です

適用例

1方向タイプ

- 鉄道、道路橋橋脚・建築物柱の耐震補強
- 橋脚桁・建築物梁、建築物スラブの補強
- 床版の耐久性向上

2方向タイプ

- トンネル覆工はく落防止
- コンクリート高架橋補修
- コンクリート構造物のひび割れ・はく落対策

規格
特性

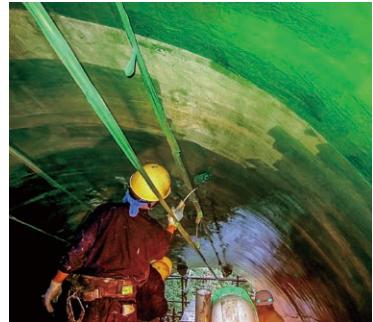
■アラミド繊維シート(1方向)

品名	品番	繊維の種類	保証耐力(t/m)	目付量(g/m ²)	引張強度(N/mm)	引張弾性率(kN/mm)	設計厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(m)
FF シート	AW40	アラミド1	40	280	2060以上	118	0.193	500	50
	AW60		60	415			0.286		
	AW90		90	623			0.430		
	AW120		120	830			0.572		

※上記以外の幅および長さについては、当社営業担当者までお問い合わせください

■アラミド繊維シート(2方向)

品名	品番	繊維の種類	構造	保証耐力(t/m)	目付量(g/m ²)	引張強度(N/mm)	引張弾性率(kN/mm)	設計厚さ(縦)(mm)	設計厚さ(横)(mm)	幅(mm)	長さ(m)
FF シート	AW10/10	アラミド1	平織り	10/10	180	2060以上	118	0.062	0.062	1000	50
	AW20/20			20/20	330			0.095	0.095		
	AW30/30			30/30	490			0.146	0.146		
	AW40/40			40/40	650			0.193	0.193		



コンクリート補修・補強用シート
アラミド繊維シート

(1方向:アラミド2)

・(公財)鉄道総合技術研究所の認定工法「A&P 耐震補強工法」用材料

アラミド繊維シートは、強靭・柔軟でフィラメントが折れにくいなどの特長をもつ、コンクリート構造物の補修・補強用繊維シートです。含浸接着樹脂により既設コンクリート部材に接着するとともに、繊維間を結合し補強します。有機繊維で非導電性のため、電気障害を起こしません。



特長

- 高強度・高伸度で構造物の変形性能を向上させます
- 非導電性で鉄道・地下鉄・電気室等電気事故が懸念される現場での施工に最適です
- 施工性に優れ、重機の使用もなくオフィスなどの「居ながら施工」も可能です
- 特に化学的安定性に優れ、塩害対策、耐酸・耐アルカリ対策としての補修・補強に最適です

適用例

- 鉄道、道路橋橋脚・建築物柱の耐震補強
- 橋脚桁・建築物梁、建築物スラブの補強
- 床版の耐久性向上

規格
特性

■アラミド繊維シート(1方向)

品名	品番	繊維の種類	保証耐力(t/m)	目付量(g/m ²)	引張強度(N/mm)	引張弾性率(kN/mm)	設計厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(m)
FF シート	AT40	アラミド2	40	235	2400以上	78	0.169	500	50
	AT60		60	350			0.252		
	AT90		90	525			0.378		
	AT120		120	700			0.504		

※上記以外の幅および長さについては、当社営業担当者までお問い合わせください

コンクリート補修・補強用シート 高伸度繊維シート

・(公財)鉄道総合技術研究所の認定工法「A&P耐震補強工法」用材料

すぐれた高伸度を発揮し鉄筋コンクリート柱部材の 低じん性を大幅に改善

高伸度繊維シートは、鉄道高架橋鉄筋コンクリート柱部材の耐震補強に用いられる補修・補強用繊維シートです。高強度かつ破断伸度が大きいのが特長で、特にじん性補強に関して優れた効果をもたらします。



特長

- ポリエチル製で、十分な強度と耐久性を有しています
- 高強度かつ破断伸度が大きく、限界エネルギーに達するほどの高荷重がかからっても簡単に破断しません
- 軽量で取り扱いが容易です
- 化学的安定性に優れ、塩害対策、耐酸・耐アルカリ対策としての補修・補強にも最適です

適用例

- 鉄道高架橋の柱部材の耐震補強
- 建築構造物の柱部材の耐震補強
- 道路橋のラーメン橋脚

規格・特性

品名	品番	保証耐力 (kN/m)	引張強度 (N/mm)	引張弾性率 (kN/mm)	破断伸度 (%)	目付量 (g/m)	設計厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (m)
PET繊維 シート	PET600	600	740以上	10	7%以上	1161	0.841	300	50
	PET900	900				1742	1.262		30

補修・補強・はく落防止工

連続繊維補強

アラミド繊維シート工法

高強度・軽量で非導電性もある アラミド繊維による耐震補強です



概要

アラミド繊維シート補強工法は、高強度・軽量なアラミド繊維シートを、橋脚や建物柱に巻きつけて耐震補強する工法です。アラミド繊維シートは、しなやかさと非導電性を併せ持った特長を有し、狭い場所での作業や電気事故の懸念される鉄道高架橋など、施工条件の厳しい箇所の耐震補強にも広く用いることができます。

建物リニューアルと同時に耐震補強を実施

建物の用途変更リニューアルに合わせて耐震補強を実施したものです。古い耐震基準で建てられた建物の柱は、せん断補強筋(柱の周方向の鉄筋)が不足しているため、現在の耐震基準に合格しません(これを既存不適格建物と称します)。このような柱に対して外側からアラミド繊維シートを柱の周方向に巻きつけることで、不足するせん断耐力の補強を行いました。

宮城県 建築柱アラミド繊維補強

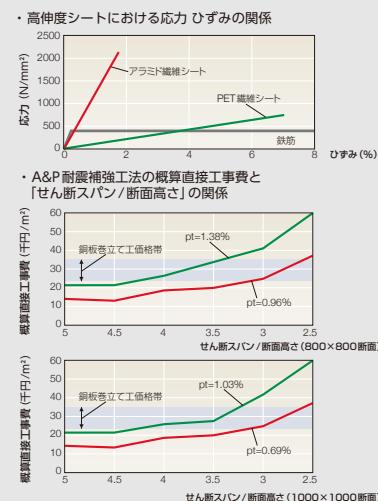
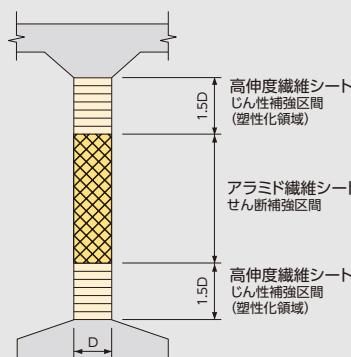
- ・適用製品：コンクリート補修・補強用繊維シート
「アラミド繊維シート(1方向：アラミド2)(品番：AT90)」
- ・使用数量(m) : 500

Point

繊維シート巻立て補強工法「A&P耐震補強工法」

アラミド繊維&高伸度繊維で、 抜群の費用対効果を実現します。

A&P耐震補強工法は、アラミド補強研究会特別部会において開発された鉄道高架橋耐震補強用の工法です。柱頭や柱脚部といった大変形が要求されるじん性補強区間にに対しては高伸度繊維シートを、そして中間部のせん断補強区間にに対しては高強度のアラミド繊維シートをそれぞれ巻き立てます。適材適所の材料使用で、鋼板補強に匹敵する経済性および狭隘な場所での良好な施工性を実現します。



コンクリート補修・補強用シート

カーボン繊維シート

(1方向、2方向)



耐震補強・耐荷重増強用

はく落防止用の高強度繊維シート

カーボン繊維シートは、鉄と比較して比重は約1/4、引張強さは約10倍の、コンクリート構造物の補修・補強用シートです。含浸接着樹脂により既存コンクリート部材に接着するとともに、繊維間を結合し補強します。

適用例

1方向タイプ

- 鉄道、道路橋橋脚・建築物柱の耐震補強
- 橋脚桁・建築物梁、建築物スラブの補強
- 床版の耐久性向上

2方向タイプ

- トンネル覆工はく落防止
- コンクリート高架橋補修
- コンクリート構造物のひび割れ・はく落対策

規格・特性

品名	品番	繊維の種類	目付量(g/m ²)	引張強度(N/mm)	引張弾性率(kN/mm)	設計厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(m)
FF シート (1方向)	CR120	炭素 繊維 高強度	200	3400 以上	245	0.111	500	100
	CR130		300			0.167		
	CR140K		400			0.222		
	CR145K		450			0.250		
	CR160K		600			0.333		

*上記以外の幅および長さについては、当社営業担当者までお問い合わせください

品名	品番	繊維の種類	目付量(g/m ²)	引張強度(N/mm)	引張弾性率(kN/mm)	設計厚さ(縦/横)(mm)	幅(mm)	長さ(m)
FF シート (2方向)	CR220	炭素 繊維 高強度	200	2900 以上	245	0.0556 /0.0556	1000	50



補修・補強・はく落防止工

連続繊維補強

炭素繊維シート工法

耐震補強で広く用いられる

信頼性の高い工法です

概要

高強度・軽量な炭素繊維シートを貼り付けて耐震補強を行います。1995年の阪神・淡路大震災以降広く用いられている工法で多くの実績があり、高い信頼性を備えています。適用範囲はアラミド繊維シートと同じですが、導電性を有するため、電気事故が懸念される鉄道関係の工事などには慎重な対応が必要です。

建物リニューアルと同時に耐震補強を実施

写真は国道の橋梁補強です。古い設計の橋脚では主筋(縦方向の鉄筋)が途中で少なくなっているものが多く(主筋の段落し)、現在の耐震基準では、橋脚の中間で曲げ耐力が不足しているものが多くあります。

現場では、炭素繊維シートをまず縦方向に貼り付けて曲げ補強を行い、次いで周方向にも炭素繊維シートを巻きつけて一体化させていきます。

福島県 赤芝橋橋脚補強

- ・適用製品 コンクリート補修・補強用繊維シート
「カーボン繊維シート(品番:CR120, CR130)」
- ・使用数量(m³): 200(CR120), 200(CR130)



(繊維シート)接着用樹脂

エポキシ樹脂

繊維シートを含浸接着し強固なFRPを形成

エポキシ樹脂は、下地材FFプライマー、含浸接着材FFダイン、不陸修正材FFパテからなる
補給・補強用繊維シートの接着・繊維間結合を行う接着用樹脂システムです。



特長

- 酸・アルカリ、水分・塩分・耐油性に優れています
- FRP層が、雨や排気ガスなど外的劣化因子による
コンクリートへのダメージも防ぎます

適用例

- カーボン繊維シートによるコンクリート補修・補強、はく落防止
- アラミド繊維シートによるコンクリート補修・補強、はく落防止

規格・特性

品名	FFプライマー	FFダイン	FFパテ
品番	P-10	D-70/D-90	T-30
用途	共用(浸透性)	補強補修工用	共用(全面塗布対応)
比重	1.20 ± 0.10	1.17 ± 0.10	1.50 ± 0.20
付着強さ (N/mm)	1.9以上	—	1.9以上
曲げ強さ (N/mm)	—	40以上	20以上
引張強さ (N/mm)	—	30以上	—
引張剪断強さ (N/mm)	—	10以上	10以上
混合物粘度 (mPa·s)	2000以下	20000以下	—
可使時間 (温度上昇法 250g) (分)	R:標準 W:冬 40以上 20以上	40以上 15以上	30以上 30以上
塗膜硬化時間 (時間)	15以内	15以内	15以内
混合比 (重量比)	2:1	2:1	2:1
混合物色調	黄色	青色/緑色	灰色
荷姿	10 kgセット(主剤:6.67 kg缶、硬化剤:3.33 kg缶)		

* [樹脂選定の目安] 標準:施工面温度10~35℃の場合
冬用:施工面温度5~15℃の場合 (5℃以下の適用については、当社営業担当者までお問い合わせください)

繊維巻き立て表面仕上げ材 A-1 mm工法 繊維巻き立て表面仕上げ材 B-10 mm工法

[NEXCO 構造物施工管理要領準拠]

(オバナヤ・セメンテックス株式会社 の商品です)



炭素繊維シートやアラミド繊維シート接着工の表面仕上げ材で、含浸接着樹脂と繊維シートの劣化を防止すると共に、繊維の保護を考慮する場合に適用します。

適用例

■道路橋橋脚、床板

※5℃以下の適用については、当社営業担当者までお問い合わせください

規格・特性

■材料性能

項目	規格		仕上げ材 A (1 mm仕様) B (10 mm仕様)
	標準状態 (N/mm)	温冷線返し後	
繊維シートとの付着強さ (N/mm)	1.0以上	1.0以上	1.1 2.3
耐候性 B法 (耐候型2種)	照射時間1200時間で塗膜に、ひび割れ、剥がれ、及び膨れがなく光沢保持率は80%以上で、変色程度がグレースケール3号以上であり、白堊化の等級が1以下であること。		合格 合格

■仕上げ材 A (1 mm仕上げ)

工程	使用材料	品名	配合割合	使用量 (kg/m ²)		温度					
						5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	35℃
プライマー材	二液無溶剤型 エポキシ樹脂 (標準用) ^①	OSプライマーER-N2 (標準用) ^①	主剤:硬化剤=2:1	0.1	可使時間 ^②	—		120分		80分	30分
					打設有効時間 ^③	—		480分		240分	180分
表面保護材	ポリマーセメント モルタル	カチオンスターC2	混練水2.8~3.0 kg/14 kg	1.4	工程間隔	—	48時間 以上		24時間 以上		
					可使時間目安	—			60分		30分
仕上げ材 ^⑤	撥水性無機系塗料	OSカラーSK-D	希釈水0~1 kg/20 kg	0.4	2回塗工程間隔				60分以上		

■仕上げ材 B (10 mm仕上げ)

工程	使用材料	品名	配合割合	使用量 (kg/m ²)		温度					
						5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	35℃
プライマー材	二液無溶剤型 エポキシ樹脂 (冬用) ^①	OSプライマーER-N (W) (冬用) ^①	主剤:硬化剤=2:1	0.2	可使時間 ^②	80分		25分		14分	—
					打設有効時間 ^③	420分		180分		90分	—
表面保護材	ポリマーセメント モルタル	セメンテックスVF ^④	混練水3.0~3.5 kg/20 kg	16	工程間隔	—	48時間 以上		24時間 以上		
					可使時間目安	—			60分		30分
仕上げ材 ^⑥	撥水性無機系塗料	OSカラーSK-D	希釈水0~1 kg/20 kg	0.4	2回塗工程間隔				60分以上		

*1 可使時間・打設有効時間の標記を目的として、仕上げ材Aにはプライマー(標準用)

仕上げ材Bにはプライマー(冬用)を表示しています

仕上げ材A用のプライマーは(標準用)の、仕上げ材B用は(冬用)の適用しかできないわけではありません

*2 温度上昇法(150 g)

*3 混練後ただちに薄膜で練り広げた状態

*4 JR東海新幹線・JR東日本・NEXCO 断面修復材規格準拠

*5 標準色 UN-75(グレー色):日塗工色版DN-75(2007年D版)

*6 標準色 UN-75(グレー色):日塗工色版GN-75(2013年G版)

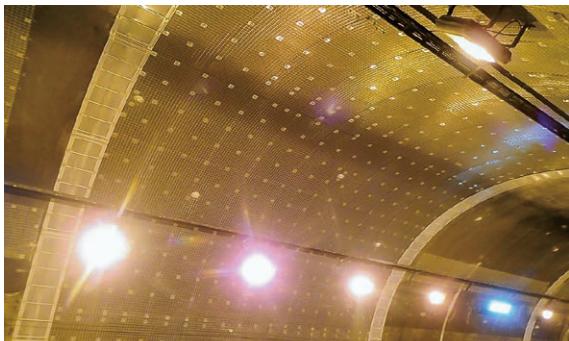
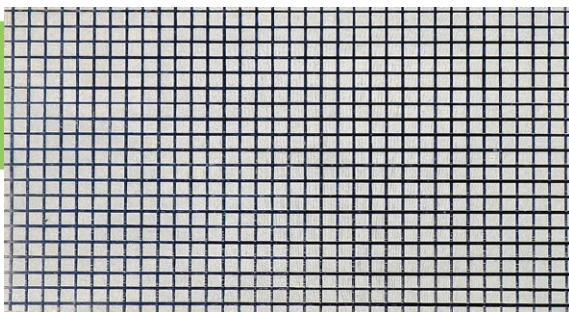
トンネル小片はく落対策工対応 ハードメッシュ

・新技術情報提供システム(NETIS)登録番号:KT-190006-VR

薄くて高剛性のため 躯体面にフィットし、はく落防止が可能です

ハードメッシュは、FRP格子筋とガラスマッシュを一体化させたトンネル小片はく落対策工対応用のメッシュ材です。トンネル覆工コンクリートの表面に固定させることで、より小さなコンクリート片の落下を防止します。

FRP格子筋が炭素繊維製グリッドであるため、薄くても高剛性、高耐力を有しています。



特長

- FRP格子筋が炭素繊維製グリッドであるため、薄くても剛性に優れています
- ガラスマッシュを一体化しているため、小さなコンクリート片のはく落も防ぎます

某トンネルはく落対策。不良部が多く広範囲で設置

規格・特性

品名	品番	断面積 (mm)	引張強度 (N/mm)	引張弾性率 (kN/mm)	引張耐力 (kN/筋)	引張剛性 (kN/筋)	筋ピッチ (mm)	
ハードメッシュ	HM-C11	11.1	1200	95	13.3	1054	50 × 50	
	HM-C22	22.2			26.6	2109		
品名	品番	寸法 (mm)	材質		穿孔径 (mm)	穿孔深さ (mm)	備考	
拡張アンカー	MS-670LN	M6 × 70(全長)	SUS304		6.4	65以上	緩み止めナット付き	
品名	品番	寸法 (mm)	材質		備考			
HM専用ワッシャー	HM-W75 * 1.5	75 × 75 × 1.5 t	SUS304		開口部付き			

*拡張アンカーについては、穿孔深さの都合上、長さを変える必要がある場合はご相談下さい

*荷姿：拡張アンカー：100本/箱、HM専用ワッシャー：100枚/箱

性能

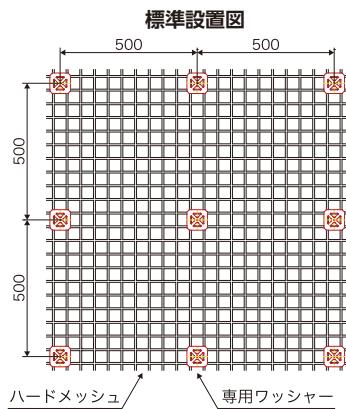
はく落対策性 能	引抜き性能(ネット系・樋系工法)		
	結果	荷重変位	
		荷重0.5 kN時	44.6 mm
延焼性・ 自己消火性	延焼範囲		延焼時間
	試験体左右方向	試験体上端方向	燃焼時間
	230 mm	185 mm	延焼時間 0秒
発生ガスの安全性	マウス行動停止時間: 14.6分		

注) NEXCO試験方法(引抜き性能試験法737-2011、延焼性・自己消火性 試験738-2011)による
注) 発生ガスの安全性については、建築基準法にある「避難上有害な煙又はガスを発生しないこと」が確認できる試験方法



【HM専用ワッシャー】
開口部を設けることで、アンカーパーツの確認が可能

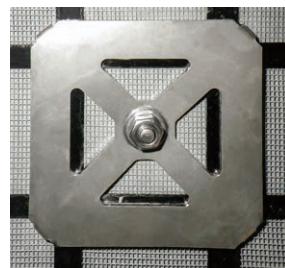
固定方法



- ハードメッシュの固定には、専用ワッシャーと拡張アンカーを使用してください
- ハードメッシュの基準固定ピッチは500mmです
- 継ぎ手部は1マス分を重ねて設置してください

【注意事項】

- 拡張アンカーの穿孔径は必ず厳守してください
アンカーハード度に大きく影響します。穿孔深さについても、短い場合はアンカーハード度に影響しますので、注意してください
- グリッド部の端部や専用ワッシャーの端部は切れやすいため、取り扱い時は手袋を着用してください



FFシステム はく落防止用FRPメッシュ材

ハードメッシュ

(高剛性タイプ)

特長

- 高剛性タイプ HM-C22は900×500 mmピッチでの固定が可能です

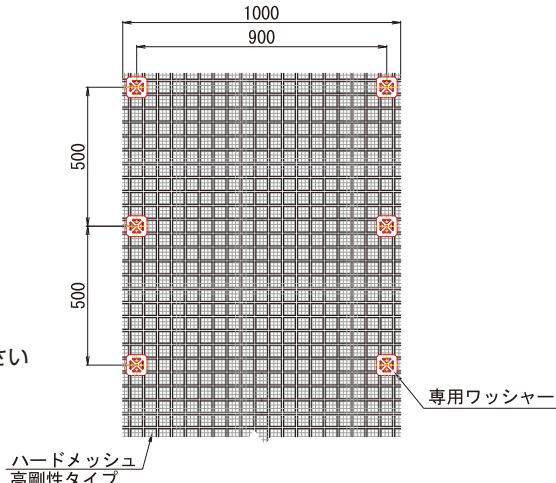
固定方法

- ハードメッシュの固定には専用ワッシャーと拡張アンカーを使用してください
- ハードメッシュの基準固定ピッチは次の通りです
HM-C22: 900×500 mm

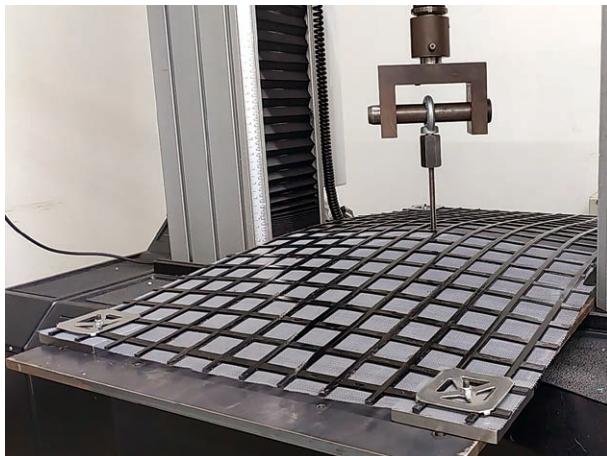
注意事項

- 拡張アンカーの穿孔径は必ず厳守してください
アンカー強度に大きく影響します
穿孔深さが短い場合もアンカー強度に影響しますので、
ご注意願います
- アンカー設置後、必ず推奨トルク値でナットを締め付けてください
- グリッド部の端部や専用ワッシャーの端部は切れやすいため、
取り扱い時は手袋を着用してください

高剛性タイプ HM-C22の標準設置図



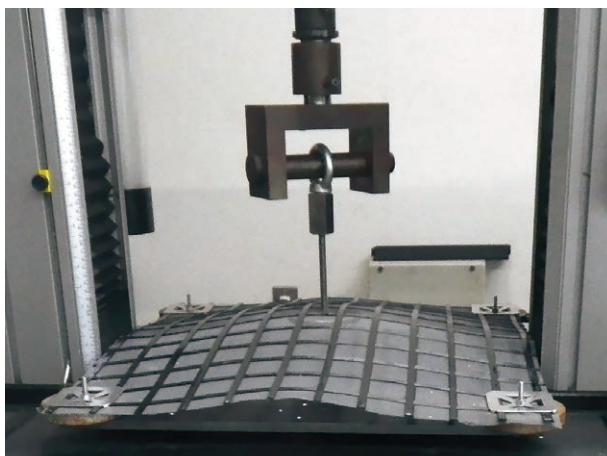
試験状況



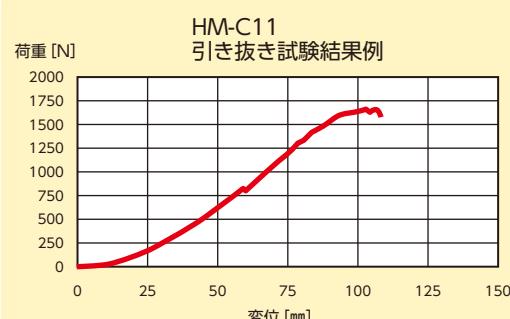
引き抜き試験状況 (HM-C22) 固定ピッチ: 900×500 mm
NEXCO小片はく落対策工の引き抜き性能規定値である0.5kN載荷時の変位が50 mm以下であることを満足しています



延焼性試験状況 (HM-C22)
NEXCOはく落対策工の延焼性・自己消火性規定値を満足しています



引き抜き試験状況 (HM-C11) 固定ピッチ: 500×500 mm
NEXCO小片はく落対策工の引き抜き性能規定値である0.5kN載荷時の変位が50 mm以下であることを満足しています



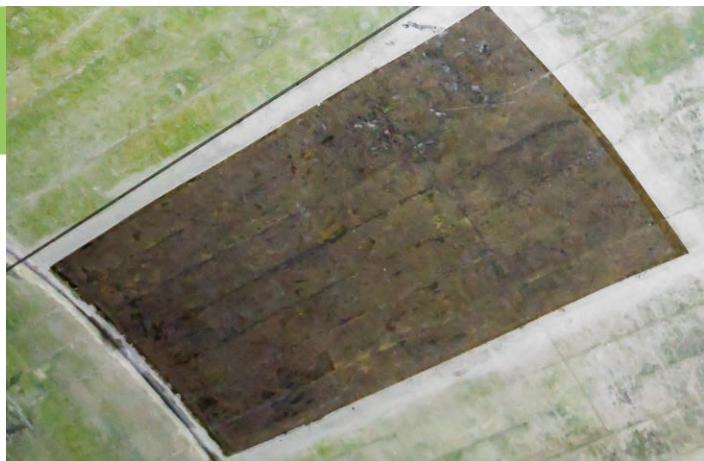
透明はく落防止工法

FF-TCC工法

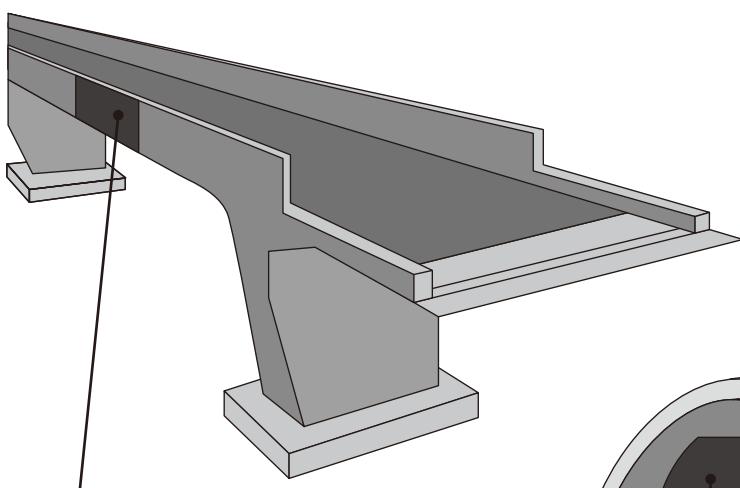
・新技術提供システム (NETIS) 登録番号 : KT-190047-A

特殊透明樹脂の採用により、
施工後のコンクリート躯体状況を
確認できます

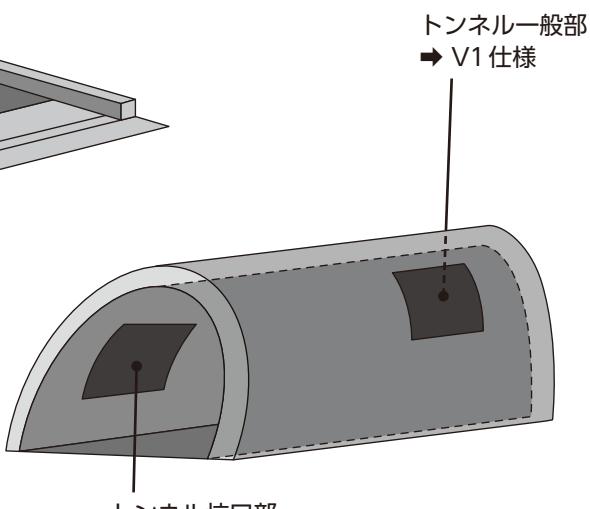
トンネル小片はく落対策用のV1仕様と、耐候性を有したV2仕様との2ラインナップにより、コンクリート構造物の様々な部位に対して施工後の目視点検が可能なはく落対策が可能です。



適用箇所



橋梁
→ V2仕様



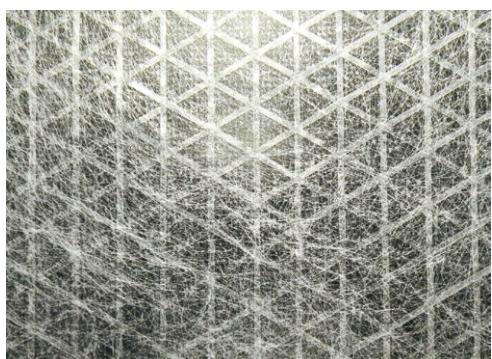
トンネル坑口部
→ V2仕様

V1仕様 → トンネル一般部 (坑門、坑口部以外)
V2仕様 → 橋梁、トンネル坑口部

使用シート

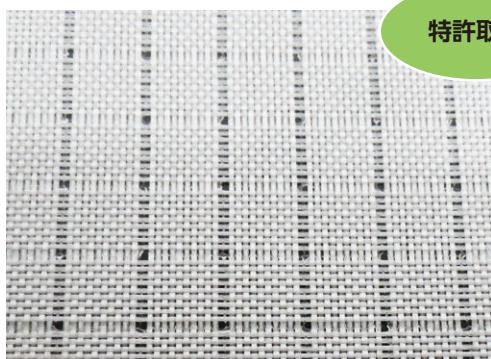
※V1仕様、V2仕様でシートが異なります

PT310 (V1仕様)



- 破断伸度が高い
- 透明性が高い

P210 (V2仕様)



特許取得

- シートに熱融着糸を10mmピッチ間隔で配置
- カット時にはつれない
 - カット長やラップ長の目安になる
 - 隙間が出来ることにより、樹脂含浸性向上

FF-TCC V1仕様

特長

- NEXCOトンネル施工管理要領
はく落対策工適合工法です
- プライマーレスのため、1日で施工できます(断面修復工は除く)
- 樹脂が1液性のため、計量、混合が不要です



施工前



施工後

仕様

品名	品番	荷姿	備考
FFシート	PT310	1m幅×100m/巻	高伸度型シート
FFダイン	D-CU	8kg/缶	ウレタン系透明接着樹脂

■工程

工程	品名	品番	1m ² あたりの使用量	備考
下地処理				
下塗り	FFダイン	D-CU	0.5kg/m ²	
シート貼付け	FFシート	PT310	1m ²	
上塗り	FFダイン	D-CU	0.1kg/m ²	省略可

1日で施工可能

ただし、断面修復、クラック補修、止水注入などの工程は除きます。



押抜き試験状況

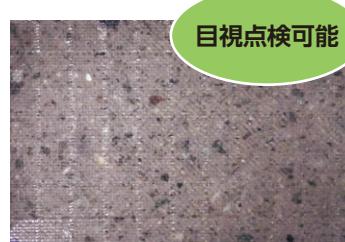


延焼性試験状況

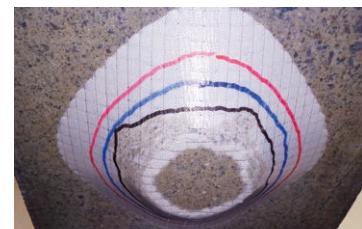
FF-TCC V2仕様

特長

- NEXCO構造物施工管理要領
はく落防止工適合工法です
- 仕上げ材が不要です
- プライマーが必要です



施工後



押抜き試験状況(V2仕様)

仕様

品名	品番	荷姿	備考
FFプライマー	P-15	10kg/set	2液性エポキシ樹脂
FFシート	P210	1m幅×50m/巻	高伸度型シート
FFダイン	D-CU	8kg/缶	ウレタン系透明接着樹脂

■工程

工程	品名	品番	1m ² あたりの使用量	日数
下地処理				
プライマー塗布	FFプライマー	P-15	0.15kg	1日
ダイン下塗り	FFダイン	D-CU	0.3kg	1日
シート貼付け	FFシート	P210	1m ²	
ダイン上塗	FFダイン	D-CU	0.2kg	

多機能特殊ポリマーセメントモルタル マグネライン

補強・補修・防錆 様々な機能を持つ無機質材料

マグネラインは、無機質主材のマグネコンパウンドと、複合高分子エマルジョンのマグネエマルジョンを現場配合して使用する多機能特殊ポリマーセメントモルタルです。補強・補修・防錆など、様々な機能を併せ持っています。



- 特長**
- PCM工法協会発行のマニュアルに各性能が示され、中性化・塩害などの耐久性に関する照査も行えます
 - 取り扱いが容易で、確実な施工ができます

- 水道用資機浸出試験に合格しています
- 施工後の美観に優れています
- 鉄・コンクリートにも良くなじみます
- 湿潤状態で施工できます

■マグネラインの種類

マグネラインタイプ I

施工方法: 吹付け、刷毛塗り、ローラー塗り
主な用途: 接着材およびプライマー材として使用

液体	粉体
マグネエマルジョン (ポリアクリル酸 エステル系複合高分子)	マグネコンパウンド6号 (主材:セメント+細骨材)
1 : 3.5	(重量による標準配合比)

マグネラインタイプ II

施工方法: コテ塗り、吹付け(増厚)
主な用途: 増厚材として使用

液体	粉体
マグネエマルジョン (ポリアクリル酸 エステル系複合高分子)	マグネコンパウンド3号 (主材:セメント+細骨材)
1 : 7	(重量による標準配合比)

PAC系ポリマーセメントモルタルを用いた
コンクリート構造物の
補修・補強に関する設計・施工マニュアル(案)

2012年4月

一般社団法人 PCM工法協会
PAC系ポリマーセメントモルタルを用いた
コンクリート構造物の補修・補強工法技術委員会

マグネラインを用いたコンクリート
構造物の設計・施工マニュアル

**規格
特性**

■マグネラインタイプ I

項目	規格値	試験値	試験方法
エマルジョン: コンパウンド (重量比)	—	1:3.5	—
単位容積質量 (ton/m³)	—	1.8	—
付着強度 (N/mm)	1.5	対鉄板2.1、対コンクリート3.1	JIS A 1171:2000 準用
凍結融解試験 (%)	—	相対動弾性係数 97	JIS A 1171:2000

■マグネラインタイプ II

項目	規格値	試験値	試験方法
エマルジョン: コンパウンド (重量比)	6.5~7.5	1:6.5 1:7.0 1:7.5	—
単位容積質量 (ton/m³)	—	2.0 2.0 2.0	—
圧縮強度 (N/mm)	30.0	41.2 44.8 54.5	JIS A 1171:2016
曲げ強度 (N/mm)	6.0	13.0 12.2 14.7	JIS A 1171:2016
引張強度 (N/mm)	—	4.0 4.2 4.4	JIS A 1113:2006
ヤング係数 (kN/mm)	19.0	18.9 19.3 22.5	JIS A 1149:2001
コンクリートとの付着強度*1 (N/mm)	1.5	2.0 3.0 2.8	建研式接着力試験
中性化速度係数*2 (mm/√year)	—	0.17 —	JIS A 1171:2016
塩化物イオン拡散係数 (cm/year)	—	0.38 —	JSCE-G 572-2007
硬化収縮率 (%)	—	0.049 —	JIS A 1129-3*3
線膨張係数 ($10^{-6}/^{\circ}\text{C}$)	—	15 —	JIS K 6911

*規格値の場合は、エマルジョン:マグネコンパウンド3号=1:7としています *その他の試験条件は、各試験方法に準じています

*1: 規格値はSPCMの品質規格であり、特性値とは異なります *2: 二酸化炭素濃度0.03%に換算 *3: NEXCO構造物管理要領2016「左官工法による断面修復の性能照査項目」による条件に従っています

補修・補強工

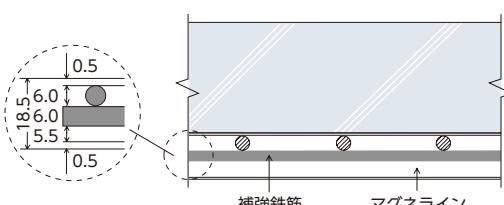
マグネライン(ポリマーセメントモルタル)

トンネル補修・補強工法(マグネラインPT工法®)

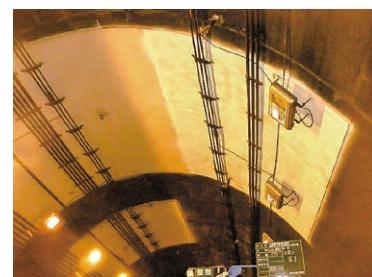
高い付着耐久性や薄巻施工のノウハウを応用したトンネルの補修・補強工法です

概要

橋梁床版の補強工法(PSR工法)や橋脚耐震補強工法(PP工法)で培ってきた、高い付着耐久性や薄巻施工技術のノウハウをトンネルの補修・補強工法に応用しました。薄厚での補強が可能で、トンネル内空断面の建築限界を侵すことのない補強設計が可能です。



覆工コンクリートを補強する場合は、鉄筋または格子鉄筋にて補強します。また、断面修復やく落防止には溶接金網やメッシュシートを設置し補修します。



施工完了

補修・補強工
マグネライン（ポリマーセメントモルタル）

RC橋脚巻立て 補強工法 (マグネラインPP工法[®])

・NETIS登録番号 KT-980187-VE (掲載期間満了)

建築限界や河積阻害が問題になる場所で
真価が発揮できる橋脚耐震補強工法です

概要

従来のRC巻立て工法では、施工できない建築限界や、河川内の河積阻害が問題になる場所で真価が発揮できる画期的な橋脚耐震補強工法です。RCの補強理論に基づき行った公開実験「PPマグネラインで補強した橋脚の正負交番載荷試験」(平成10年)により、その補強効果が確認された工法です。

・標準施工手順



※タイプIとタイプIIを互層で吹付け工法もしくは左官工法で増厚する



ハイビアでの施工例



水門の施工例

補修・補強工
マグネライン（ポリマーセメントモルタル）

RC床版下面増厚 補強工法 (マグネラインPSR工法[®])

・NETIS登録番号 QS-980191-VR (掲載期間満了)

既設の床版と補強用の鉄筋を一体化させ曲げだけでなくせん断に対する補強効果も同時に得る工法です

概要

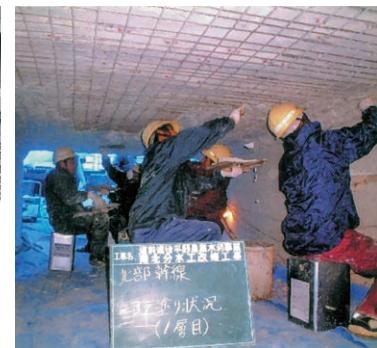
補強用の鉄筋を床版下面に取付けた後、マグネラインで既設の床版と完全に一体化させる工法です。弾性的でフレキシブルな構造体の形状により、曲げだけでなく、せん断に対する補強効果も同時に得られ、マグネラインの防食効果により耐久性も向上します。



床版補強

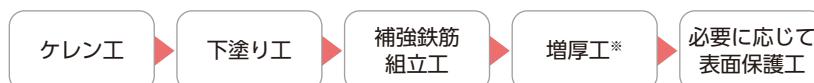


RC主桁の補強



ボックスカルバートの頂版補強

・標準施工手順



※タイプIとタイプIIを互層で吹付け工法もしくは左官工法で増厚する

ポリマーセメントモルタル断面修復材／軽量断面修復材

マグネラインMDD1

マグネラインMDライトN (標準タイプ)

マグネラインMDライトQ (速硬タイプ)

・東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)
構造物施工管理要領「断面修復材品質規格」適合品



粉末樹脂および短纖維をプレミックスした 一材型のポリマーセメントモルタル断面修復材

マグネラインMDD1は、粉末樹脂や短纖維をプレミックスしたポリマーセメント系のコンクリート断面修復材です。左官仕上げなどの施工性が良く、仕上げが良好で、優れた付着性と高いひび割れ抵抗性を発揮します。マグネラインMDライトN (標準タイプ)は、特殊軽量骨材をプレミックスした軽量タイプのコンクリート断面修復材、マグネラインMDライトQ (速硬タイプ)は、軽量速硬タイプのコンクリート断面修復材で、壁面や天井面でのダレが少なく左官で厚塗りができます。

特長

- 所定量の水と混合するだけの一材型ポリマーセメントモルタルです
- 吹付と左官施工に対応し、吹付作業性およびコテ作業が良好です (MDD1)
- 環境対応型で、生物に有害な外因性内分泌搅乱物質 (環境ホルモン) を使用していません
- 短纖維により、各種ひび割れの発生を抑制します
- ポリマーにより、既設コンクリートとの強力な付着力を発揮します
- 天井面でも1層あたり30 mm程度の厚付けが可能です (MDライトN、Q)
- 専用鉄筋防錆材マグネMDガードもあります

規格 特性

■物性データの一例

項目	材齢	試験値			試験方法
		MDD1	MDライトN	MDライトQ	
単位容積質量 (kg/ℓ)	—	2.15	1.60	1.60	JIS A 1171
圧縮強度 (N/mm²)	3時間	—	—	17.4	JIS A 1171
	1日	—	—	24.0	
	7日	35.6	29.5	31.9	
	28日	45.4	47.4	39.7	
曲げ強度 (N/mm²)	3時間	—	—	3.4	JIS A 1171
	1日	—	—	4.3	
	7日	6.3	5.3	6.3	
	28日	10.7	8.1	7.4	
静弾性係数 (kN/mm²)	7日	21.2	12.1	11.6	JIS A 1149 準用
	28日	21.5	12.4	12.1	
付着強度 (N/mm²)	7日	2.6	1.9	2.5	建研式付着力試験
	28日	3.4	2.0	3.0	
長さ変化率 (%)	28日	0.041	0.048	0.025	NEXCO試験法 416

※上記データは、試験条件 試験室の温度: 20 °C、MDD1:水=20 kg:2.75 kg、MDライトN:水=15 kg:3.15 kg、MDライトQ:水=15 kg:3.00 kgにおける試験値であり、規格値ではありません

ポリマーセメント系鉄筋防錆材 マグネMDガード

・東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)
構造物施工管理要領「鉄筋防錆材品質規格」適合品

各種断面修復材と鉄筋との付着性に優れ 高い防錆性を発揮します

マグネMDガードは、ポリマーセメント系の鉄筋防錆材で、東日本・中日本・西日本高速道路株式会社構造物施工管理要領「鉄筋防錆材品質規格」に適合しています。



マグネMDガード粉体
(5.0 kg/袋)

マグネMDガード混和液
(1.5 kg/ケ)

特長

- 鉄筋防錆材に求められる性能を満足しています
- 各種断面修復材を用いて試験を行っています

規格・特性

■物性データの一例

要求性能	項目	基準値	試験値			
			MDD1	MDライトN	MDライトQ	PWモルタル
防錆性	防せい性試験 (防せい率: %)	処理部	50以上	75.5	81.5	67.9
		未処理部	-10以上	-1.97	-1.57	14.2
鉄筋との付着性	鉄筋に対する付着強さ試験 (N/mm)	7.8以上	13.0	10.4	10.7	12.3
コンクリートとの付着性	耐アルカリ性試験	塗膜に異常が認められないこと	塗膜に異常なし			

※試験方法等：NEXCO「鉄筋防錆材の性能照査項目」に規定されている日本建築学会基準(案)の試験方法による
(日本建築学会 鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)付1.3「鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準(案)」に示す試験方法)

水性自己架橋型カチオンシーラー マグネシーラー

特長

- コンクリートに対して接着性が優れており、上塗材のドライアウトを防止し安定した付着強度を発揮します。
- 各種ポリマーセメントモルタルと優れた付着性を発揮します。
- 高浸透成分を含有し、コンクリートに対する浸透性に優れています。
- 水系の材料なので、作業性、安全性に優れています。

規格・特性

下地	・コンクリート ・モルタル
上塗材 (PCM)	・MDD1 ・MDライトN (標準タイプ) ・PWモルタル ・MDライトQ (速硬タイプ)
主成分	特殊アクリル樹脂
外観	淡黄乳白色液体
粘度 (mPa·s)	50 以下
PH	4.0～6.0



項目	15kg缶	4kg缶
施工面積の目安	約100m ²	約25m ²
標準塗布量	100～200g/m ²	

使用方法

1. 塗布面に付着している油脂、離型剤、塵埃等の汚れは除去し清掃してください。
2. 塗布前に缶をよく揺すってください。
3. 下地乾燥後、マグネシーラーを刷毛、ローラー等により塗布してください (塗布量: 0.1～0.2kg/m²)。
4. マグネシーラーが乾燥してから、次工程に進んでください。

農業水利施設補修用ポリマーセメントモルタル／充填式目地材

PWモルタル

PW目地 (タイプA)



摩耗・中性化・凍害に対して高い耐久性を有する農業水利施設の補修材

PWモルタルは、粉末樹脂や短纖維をプレミックスしたポリマーセメント系の水路用コンクリート補修材料です。また、既設コンクリートとの付着性を向上させるため、プライマーを使用します。PW目地 (タイプA) は、1液型弾性ウレタン樹脂を用いた農業水利施設用充填式目地材です。流水方向に動く伸縮目地に適用できます。

特長

- 開水路の無機系被覆工法に求められる性能を満足しています
- 所定量の水と混合するだけの一材型ポリマーセメントモルタルです
- 吹付と左官施工に対応し、吹付作業性およびコテ作業性が良好です
- 環境対応型で生物に有害な外因性内分泌搅乱物質(環境ホルモン)を使用していません
- 短纖維により、各種ひび割れの発生を抑制します
- ポリマーにより、既設コンクリートとの強力な付着力を発揮します

PW目地

- 押出し時の負荷も軽く施工性に優れます
- 促進耐候性試験を1200時間実施しており、耐候性に優れます

適用例

- 水路
- 暗渠および水路トンネル

規格・特性

■PWモルタル物性データの一例

項目	試験値	品質規格値(案)	試験方法	
中性化抑止性	0 mm	中性化深さ 5 mm以下	JIS A 1153 (4週間後)	
付着性	標準条件 2.7 N/mm ²	1.5 N/mm ² 以上	JSCE-K561	
	多温条件 2.4 N/mm ²			
	低温条件 2.6 N/mm ²			
	水中条件 2.8 N/mm ²	1.0 N/mm ² 以上		
	乾温繰返し後 2.1 N/mm ²			
	温冷繰返し後 2.9 N/mm ²			
一体化性(圧縮強度)	44.9 N/mm ²	21.0 N/mm ² 以上	JSCE-K561 (28日間養生)	
寸法安定性(長さ変化率)	0.045 %	0.05 %以下	JIS A 1129	
耐摩耗性[基準モルタル対比]	無機系0.84	標準試験体と平均摩耗深さを比較 無機系:1.5以下	表面被覆材の水砂噴流摩耗試験(案) (材齢28日、10時間経過後)	
耐凍害性	異常なし 2.0 N/mm ²	割れ、ひび割れ、剥がれがないこと 付着強度 1.0 N/mm ² 以上	表面被覆材の凍結融解試験方法(案) (300サイクル)	
	88 %	相対動弾性係数85 %以上	JIS A 1148 (A法300サイクル)	

※上記データは、試験条件 試験室の温度: 20 °C、PWモルタル: 水=20 kg: 2.8 kgにおける試験値であり、規格値ではありません

※品質規格値(案)は一般社団法人 農業土木事業協会 無機系被覆工法の品質規格です

■PW目地物性データの一例

項目	試験方法	品質規格値(案)*	試験値
耐候性	JSCE-K511に準じる(サンシャイン600時間)	膨れ、ひび割れ、剥がれがないこと	被膜表面に、膨れ、割れ、剥がれを認めない
	JSCE-K511に準じる(サンシャイン1,200時間)	-	
止水性	モデル試験体での実験試験水圧0.1 MPa 水圧保持時間3分	漏水が認められないこと	漏水を認めない
伸縮追従性	JIS A 1439 5.17 耐久性試験に準じる 繰返し試験 土 20 % × 7,300回 評価はJIS A 5758 8.「検査」による	剥離・破断がないこと	剥離・破断を認めない

補修・補強工

PWモルタル(ポリマーセメントモルタル)

水路補修工法(PW工法)

劣化した水路構造物を修復し
長年にわたり保護します



施工前



施工中

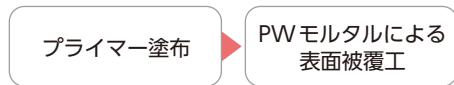


完了

概要

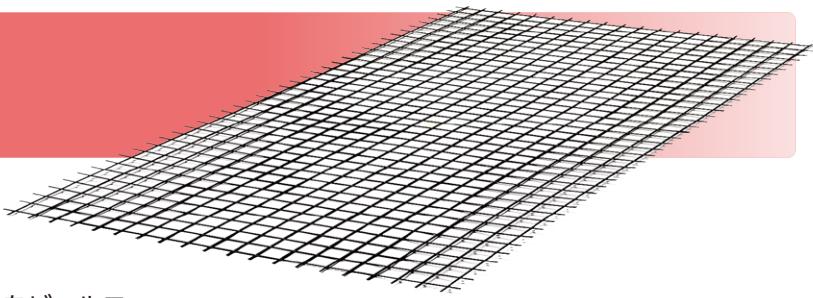
プライマーを塗布したうえでPWモルタルを吹付け、もしくはコテ塗りすることにより既設コンクリートと保護材が一体となり、劣化した水路構造物を修復するとともに、長年にわたり保護します。

・標準施工手順



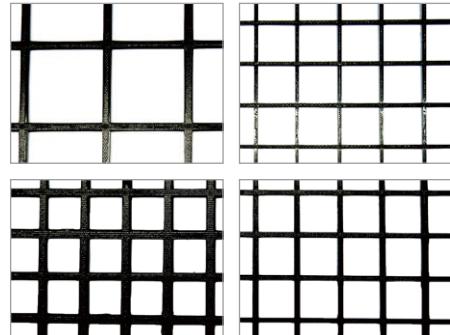
コンクリート構造物の補修・補強用
FRP格子筋

FFグリッド



軽量で腐食の心配のないFRP格子筋
鉄筋と同様の補強効果が期待できます

FFグリッドは、カーボン繊維等の高性能連続繊維をビニルエスセル樹脂に含浸させ、格子状に成形したコンクリート構造物の補修・補強用FRP格子筋です。既設コンクリート躯体に特殊ポリマーセメントモルタル等で一体化させることで鉄筋と同様の補強効果が期待できます。



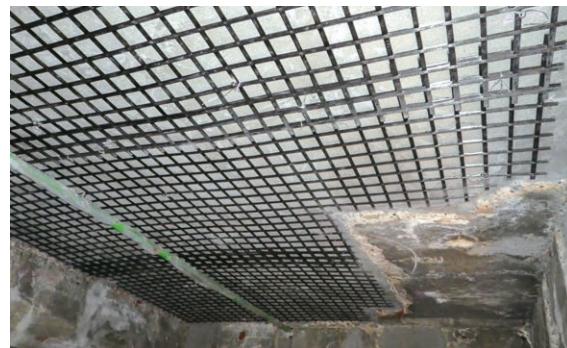
特長

- 使用材料の比重が鉄に比べ非常に小さいため、軽量です
- 運搬が容易で、重機が不要です
- 高強度の連続繊維を格子状に成形しており、鉄筋と同様の補強効果が期待できます
- 厳しい腐食環境下にあっても錆びません

規格特性

	FFグリッド				
品名					
品番	CG4	CG6	CG13	CG17	CG26
繊維の種類	高強度炭素繊維				
公称断面積 (mm ²)	4.4	6.6	13.2	17.5	26.4
引張強度 (N/mm ²)	1400				
引張弾性率 (N/mm ²)	100,000				
格子間隔 たて×よこ (mm)	50×50		50×50 100×100		

施工例



接着系あと施工アンカー(打込みタイプ)
「スチレンフリーエポキシアクリレート樹脂」
ボルトメイトHC

環境や人体に優しく固着力・施工性・貯蔵安定性に
優れた打込み式接着系アンカー

打込み式ケミカルカプセルボルトメイトHCは、ハンマーで簡単に施工できるスチレンフリー
エポキシアクリレート樹脂カプセルアンカーです。

特長

- スチレンフリー樹脂を使用し、施工時の嫌な臭いが少なく、人体や環境にやさしい製品です
- エポキシアクリレート樹脂の採用により、強固な固着力と耐アルカリ性に優れます
- ダブル溶閉タイプの採用により、貯蔵安定性に優れます
- 打撃抵抗が小さく、ハンマーの打撃により、簡単に施工できます
- ボルト・異形棒鋼は寸切りのまま施工できます
- 変形ボルト(コ、L、U字型等)も施工できます
- (一社)日本建築あと施工アンカー協会の製品認証を取得しています
※製品認証の範囲などについては別途個別カタログをご確認ください。
- 1つの孔にカプセル2本使用まで適用可能です
- 硬化剤をガラス管の外側に塗布したりしていない為、輸送時に硬化剤の欠けなどがおきません
- 差筋、パイプ支持、L型、U型筋、コンクリート型枠止め、コンクリートブロック補強、車止め、機械基礎、フェンス等の取り付け等

適用例

規格・特性	品番	外径×長さ (mm)	容量 (ml)	アンカー筋	基準穿孔条件		最大引張荷重 (kN) Fc=24 N/mm	許容引張荷重 (kN) Fc=21 N/mm	
					径 (mm)	深さ (mm)		長期	短期
HC-10N	10.75 × 89	6		D10	12.5	90	36.8	9.1	13.7
				M10,W3/8	12				
HC-13N	13.0 × 110	11.2		D13	16	110	80.6	13.7	20.6
				M12,W1/2	15				
HC-16N	16.75 × 125	20		D16	20	140	116	22.2	33.3
				M16,W5/8	19				
HC-19N	20.5 × 155	40.7		D19	25	170	167	32.9	49.4
				M20	24				
				W3/4	23				

※最大引張荷重は基準穿孔条件における異形棒鋼を使用した場合の公的機関試験値であり、規格値ではありません

※許容引張荷重は基準穿孔条件における当社算定式を用いた異形棒鋼を使用した場合のコンクリート破壊により決まる算定値です

■硬化工時間

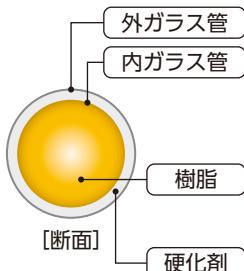
ボルトメイトHCの硬化する時間は、温度によって異なります。ご使用の際は、下表をご参照ください。

温度 (°C)	-10	-5	0	5	10	15	20	25	30	35	40
硬化時間 (分)	396	252	126	66	42	30	21	17	13	8	6

※低温時には打設抵抗が大きくなりますので、カプセルを温めて使用することをお勧めします。(ただし、40°C以上には絶対にしないでください)



使用期限年月 カプセル挿入向き 硬化剤

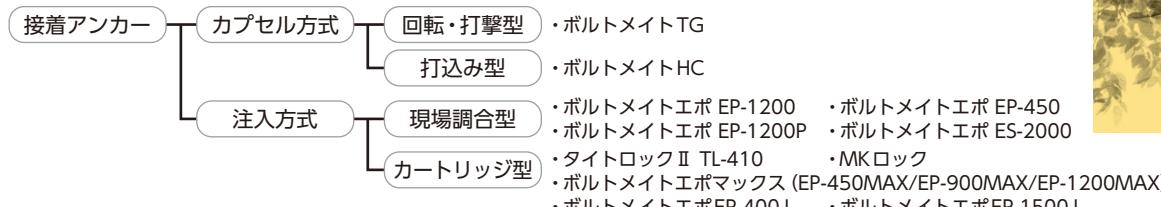


[断面]

建築構造物補修補強

接着系あと施工アンカー工法

多彩なラインナップで多種多様な用途への適用が可能です



前田工業株式会社

■樹脂物性値一覧

項目	試験法	単位	TG	HC	TL-410	EP-J	EP-MAX	EP-450	EP-1200S	EP-1200W	EP-1200PS	EP-1200PW
比重	JIS K 7112	—	1.23	—	1.21	1.32	1.35	1.16	1.16	1.17	1.31	1.37
引張強さ	JIS K 7161	MPa	28.0	25.3	34.8	30.7	46.0	57.2	58.8	51.5	41.0	37.9
曲げ強さ	JIS K 7171	MPa	54.2	43.9	111	65.2	62.4	89.2	77.8	80.2	62.8	64.6
圧縮降伏強さ	JIS K 7181	MPa	102	110	133	77.3	106	131	120	121	66.2	68.4
圧縮弾性率	JIS K 7181	MPa	2660	1960	3160	2300	3620	2900	2220	2440	1860	2160
引張せん断付着強さ	JIS K 6850	MPa	10.8	—	10.6	23.9	13.8	19.0	17.0	18.7	24.0	22.8
シャルピー衝撃強さ	JIS K 7111	KJ/m	1.6	—	1.9	3.2	3.6	4.2	5.4	4.9	5.0	6.4
硬度 (D)	JIS K 7215	—	88	—	88	85	86	86	86	86	85	85
耐アルカリ性	JIS K 6919	%	-1.0	-1.9	+0.2	-2.3	+0.6	-2.2	+0.5	-0.6	+0.5	-0.6

※試験値は(一財)化学物質評価研究機構による測定値

接着系あと施工アンカー（カートリッジ式注入タイプ）
〔エポキシアクリレート樹脂〕

タイトロックⅡ TL-410



あらゆるアンカー筋に対応するカートリッジ注入型接着系あと施工アンカー

タイトロックⅡ TL-410は、エポキシアクリレート樹脂の主剤と硬化剤を専用ガンで注入・施工するカートリッジ式の接着系あと施工アンカーです。穿孔後、ハンマードリルなどの器具無しで作業できるため、力プセルタイプでは困難であったU字筋、L字筋などあらゆるサイズのボルト・異形棒鋼などに使用できます。

特長

- エポキシアクリレート樹脂の採用により低温時でも硬化します
- スチレン等の揮発性物質を含まないため、嫌な臭いが少なくなっています
- 横向き／上向き施工にも対応できる高粘度タイプの樹脂です
- 硬化剤に着色しているため、混合具合が確認できます
- あらゆるサイズのボルト、異形棒鋼に対応できます
- 水道用資機材の浸出試験に合格しています
- 「優良住宅部品認定基準 墜落防止手すりに使用する改修用アンカー」に関し、ベターリビングによるデータ取得

適用例

- あと施工アンカー全般
- 定着アンカー
- 差筋アンカー（L型、J型、U型）
- 機械据え付け用アンカー
- 機械基礎アンカー
- 手摺・フェンス支持

規格特性

使用ボルト 異形棒鋼	穿孔条件 径×深さ (mm)	必要 樹脂量 (mL)	カートリッジ 1本当たりの 施工可能本数(本)	最大引張荷重 (kN)		許容引張荷重 (kN)	
				ハンマードリル	コアドリル	長期	短期
D10	13×90	7	55			12.4	18.6
M10 W3/8	12×90	6 7	65 55	38.5	36.8	12.2	18.4
D13	16×100	9	43			15.5	23.3
M12 W1/2	14×100	9 8	43 48	72.3	67.5	15.2	22.8
D16	20×130	18	21			26.1	39.1
M16 W5/8	18×130	16 18	24 21	106	101	25.9	38.9
D19	24×160	32	12			39.4	59.1
M20 W3/4	23×160	33 39	11 10	146	136	39.2	58.8
D22	28×180	50	7			50.1	75.1
M22 W7/8	26×180	49 51	7 7	205	165	49.6	74.4
D25	32×200	72	5			62.1	93.1
M24 W1	28×200	64 55	6 7	252	217	61.0	91.5

※許容引張荷重は上記穿孔条件における当社算定式を用いたFc=21 N/mmの場合のコンクリート破壊により決まる算定値です
※M24およびD25より大きいサイズについてはメーカーまでお問い合わせください

※最大引張荷重は異形棒鋼SD345(D10のみSD295A)での公的機関試験値で、規格値ではありません

※必要樹脂量はロス率20%での計算値です

■可使時間と硬化時間

温度	-5℃	0℃	5℃	10℃	20℃	30℃	35℃
可使時間	90分	45分	25分	15分	6分	3分	2分
硬化時間	24時間	12時間	4時間	3時間	2時間	1時間	45分

※可使時間：注入開始（2液が混合された時）から硬化反応が始まるまでの時間

※硬化時間：注入開始から荷重がかけられるまでの時間

※可使時間内にボトルまたは、異形棒鋼の埋め込みを終了してください

※可使時間から硬化時間のあとはボトルまたは異形棒鋼に触れないでください

接着系あと施工アンカー（カートリッジ式注入タイプ）〔エポキシ樹脂〕

ボルトメイトエポEP-400J/EP-1500J

ボルトメイトエポマックス

エポキシ系カートリッジ注入型の接着系あと施工アンカー 用途に応じてそれぞれ2タイプの容量

常温硬化型の高粘度なエポキシ樹脂の主剤と硬化剤を、専用ガンで注入・施工する接着系あと施工アンカーです。カートリッジ式の2液定量混合方式により主剤・硬化剤の配合ミスや攪拌不足を解消し、安定した接着強度が得られます。

※EP-900MAXは2023年9月上市予定

特長

- 耐食性変性エポキシ樹脂の採用によりコンクリートへの接着強度、耐アルカリ性、耐震性に優れています
- 横向き／上向き施工にも対応できるエポキシ樹脂です
- 揮発性の溶剤を含まないため、硬化後の収縮はほとんどなく肉やせがありません
- 刺激臭を極力抑えているため、作業環境を悪化させません
- JWWA Z 108に基づき浸出試験を行い、水道用資機材の基準に合格しています
- 「優良住宅部品認定基準 墜落防止手すりに使用する改修用アンカー」に関し、ベターリビングによるデータ取得

適用例

- あと施工アンカー全般
- 定着アンカー
- 差筋アンカー（L型、J型、U型）
- 機械据え付け用アンカー
- 機械基礎アンカー
- 手摺・フェンス支持
- 点字録・プレート

EP-450MAX



ハンドガン

EP-900MAX



エアーガン

EP-1200MAX



エアーガン

EP-400J



ハンドガン

EP-1500J



ハンドガン

規格
・
特性

■ 梱包形態

品番	セット内容	梱包単位
EP-400J	カートリッジ(400 mL)、ノズル(1本)、延長チューブ(1本)	10 セット/箱
EP-1500J	カートリッジ(1500 mL)、ノズル(1本)	6 セット/箱

品番	セット内容	梱包単位
EP-450MAX	カートリッジ(450 mL)、ノズル(1本)、延長チューブ(1本)	10 セット/箱
EP-900MAX	カートリッジ(900 mL)、ノズル(1本)	8 セット/箱
EP-1200MAX	カートリッジ(1170 mL)、ノズル(1本)	6 セット/箱

■ 可使時間と硬化時間

EP-400J/1500J	5 °C	10 °C	20 °C	30 °C	35 °C
可使時間	30 分	20 分	9 分	4 分	2 分
硬化時間	48 時間	15 時間	7 時間	5 時間	3 時間

ボルトメイトエポマックス	5 °C	10 °C	20 °C	30 °C	40 °C
可使時間	120 分	90 分	40 分	15 分	10 分
硬化時間	40 時間	28 時間	8 時間	5 時間	3.5 時間

※可使時間は、霧団気、母材、樹脂、アンカーラジの最も高い温度、硬化時間は最も低い温度を目安にしてください。※硬化時間内はアンカーラジに触れないでください。

■ アンカーラジ仕様

使用例(汎用)

使用異形棒鋼・ ボルト呼び径	穿孔条件 径×深さ (mm)	必要樹脂量 (mL)	許容引張荷重※ (kN)		降伏荷重 (kN)
			長期	短期	
D10	13 × 90	6.6	15.6	23.4	24.6
D13	16 × 100	8.9	19.5	29.2	43.7
D16	20 × 130	13.2	32.8	49.2	68.5
D19	24 × 160	31.9	49.5	74.3	98.8
D22	28 × 180	49.4	63.0	94.5	133
D25	32 × 200	71.4	78.1	117	174
D29	35 × 240	93.6	114	171	221
D32	38 × 260	106.1	122	184	273
M10	12 × 90	6.0	15.4	23.1	14.2
M12	14 × 100	8.4	19.2	28.8	20.6
M16	18 × 130	15.2	32.4	48.6	38.4
M20	23 × 160	32.7	49.3	73.9	57.5
M22	26 × 180	49.2	62.4	93.6	71.2
M24	28 × 200	63.1	76.8	115	82.9
M27	32 × 220	91.1	93.3	140	107
M30	35 × 240	115.5	111	166	131

使用例(土木: 15d)

使用異形棒鋼・ ボルト呼び径	穿孔条件 径×深さ (mm)	必要樹脂量 (mL)	許容引張荷重※ (kN)		降伏荷重 (kN)
			長期	短期	
D10	20 × 150	43.7	42.9	64.4	24.6
D13	23 × 200	69.3	75.1	112	43.7
D16	26 × 240	95.7	107	161	68.5
D19	30 × 290	146	133	200	98.8
D22	32 × 330	165	153	229	133
D25	35 × 380	208	180	271	174
D29	40 × 440	324	219	329	221
D32	42 × 480	341	248	372	273
D35	45 × 530	403	287	431	330
D38	48 × 570	458	321	482	393
D41	52 × 620	583	368	552	462
D51	62 × 770	917	530	796	699
M10	20 × 150	46.1	42.9	64.4	14.2
M12	22 × 180	63.9	61.2	91.8	20.6
M16	26 × 240	108	107	161	38.4
M20	30 × 300	166	138	207	57.5
M22	32 × 330	199	153	229	71.2
M24	34 × 360	240	169	254	82.9
M27	38 × 410	332	199	299	107
M30	40 × 450	376	226	339	131
M33	44 × 500	496	263	395	163
M36	46 × 540	548	295	443	191
M39	50 × 590	699	340	510	229
M42	52 × 630	759	377	566	240
M45	56 × 680	941	429	643	281
M48	58 × 720	1013	472	708	316

※許容引張荷重は上記穿孔条件における当社算定式を用いた $F_c=21 \text{ N/mm}^2$ の場合のコンクリート破壊により決まる算定値です。

△降伏荷重は異形棒鋼は SD345、ボルトは SS440 (M16以下は 245 N/mm²、M20~M39は 235 N/mm²、M42以上は 215 N/mm²) の場合を参考として記載しています。

△必要樹脂量はロス率 20 % での計算値です。

■ 硬化物物性

EP-400J/1500J	規格値	試験値	NEXCO規格	国交省規格
比重(硬化物)	1.30 ± 0.1	1.32	1.20 ± 0.2	1.20 ± 0.2
圧縮強さ (N/mm ²)	60以上	77.3	50以上	50以上
圧縮弾性係数 (N/mm ²)	1000以上	2300	1000以上	1000以上
曲げ強さ (N/mm ²)	40以上	65.2	40以上	40以上
引張強さ (N/mm ²)	20以上	30.7	20以上	20以上
引張せん断強さ (N/mm ²)	15以上	23.9	10以上	10以上
衝撃強さ (KJ/m)	3.0以上	7.0	1.5以上	3.0以上
硬度 (HDD)	80以上	85	80以上	80以上
ボルトメイトエポマックス	規格値	試験値	NEXCO規格	国交省規格
比重(硬化物)	1.30 ± 0.1	1.35	1.20 ± 0.2	1.20 ± 0.2
圧縮強さ (N/mm ²)	80以上	106	50以上	50以上
圧縮弾性係数 (N/mm ²)	1500以上	3620	1000以上	1000以上
曲げ強さ (N/mm ²)	40以上	62.4	40以上	40以上
引張強さ (N/mm ²)	20以上	46.0	20以上	20以上
引張せん断強さ (N/mm ²)	10以上	13.8	10以上	10以上
衝撃強さ (KJ/m)	3.0以上	3.6	1.5以上	3.0以上
硬度 (HDD)	80以上	86	80以上	80以上

※試験値は(一財)化学物質評価研究機構による試験データです

ボルトメイトエポマックス EP-450MAX
タイトロック II TL-410
ボルトメイトエポ EP-400J
にはバッテリーガンもございます。



バッテリーガン

接着系あと施工アンカー(現場調合式注入タイプ)「エポキシ樹脂」

ボルトメイトエポ EP-1200／EP-1200P



水中施工から大型土木工事まで対応 大容量の接着系あと施工アンカー

ボルトメイトエポEP-1200は常温硬化型の低粘度エポキシ樹脂です。低粘度のため、良好な作業性と、湿潤面だけでなく完全な水中であっても硬化し、優れた接着性を有しています。土木の太径・深掘りのアンカーボルト定着剤として最適です。

ボルトメイトエポEP-1200Pは、常温硬化型の高粘度エポキシ樹脂です。高粘度のため、液ダレが少なく、横向き・上向き施工が可能です。横向き・上向きの太径・深掘りのアンカーボルト定着剤として最適です。

特長

- 耐食性変性エポキシ樹脂の採用によりコンクリートへの接着強度、耐アルカリ性、耐震性に優れています
- 揮発性の溶剤を含まないため、硬化後の収縮はほとんどなく肉やせがありません
- JWWA Z 108に基づき浸出試験を行い、水道用資機材の基準に合格しています
- 水中・海水中でも硬化し、充分な強度でアンカーフィラーフィルムを固着します(EP-1200)
- 横向き・上向き施工にも対応できるエポキシ樹脂です(EP-1200P)
- 主剤と硬化剤に着色しているため、混合具合が確認できます(EP-1200P)

適用例

- あと施工アンカー全般
- 差筋アンカー(L型、J型、U型)
- 機械据え付け用アンカー
- 機械基礎アンカー
- 手摺・フェンス支持
- 定着アンカー

規格・特性

■性状

・EP-1200

	主成分	外観	混合比	混合物粘度 [mPa·s]
主剤	エポキシ樹脂	無色透明液状	主剤:硬化剤=10:4 (重量比)	600 ± 400
硬化剤	変性ポリアミン	淡黄色透明液状		

■梱包形態

・EP-1200

	容量 (kg/缶)
主剤	10
硬化剤	4

・EP-1200P

	主成分	混合比
主剤	エポキシ樹脂、無機フィラー	主剤:硬化剤=5:2 (重量比)
硬化剤	変性ポリアミン、無機フィラー	

・EP-1200P

	容量 (kg/缶)
主剤	5
硬化剤	2



■可使時間と硬化時間

		5 °C	10 °C	20 °C	30 °C	35 °C
可使時間	夏用	—	120 分	45 分	20 分	10 分
	冬用	60 分	45 分	30 分	—	—
初期硬化時間	夏用	—	40 時間	20 時間	10 時間	5 時間
	冬用	40 時間	30 時間	15 時間	—	—
硬化時間	夏用	—	7 日	5 日	3 日	2 日
	冬用	7 日	5 日	3 日	—	—

※可使時間は、雰囲気、母材、樹脂、アンカーフィラーフィルムの中で最も高い温度、硬化時間は最も低い温度を目安にしてください

※初期硬化時間(最大強度の約25%が発現する時間)内はアンカーフィラーフィルムに触れないでください

※5°C未満では硬化しない恐れがありますので、使用しないでください

■硬物物性

・EP-1200

項目	規格値	試験値		NEXCO 規格	国土交通省 規格
		夏用	冬用		
比重 (硬化物)	1.16 ± 0.1	1.16	1.17	1.2 ± 0.2	1.2 ± 0.2
圧縮強さ (N/mm²)	70以上	120	121	50以上	50以上
圧縮弾性係数 (N/mm²)	1500以上	2220	2440	1000以上	1000以上
曲げ強さ (N/mm²)	50以上	77.8	80.2	40以上	40以上
引張強さ (N/mm²)	30以上	58.8	51.5	20以上	20以上
引張剪断強さ (N/mm²)	15以上	17.0	18.7	10以上	10以上
衝撃強さ (kJ/m²)	3.0以上	5.4	4.9	1.5以上	3.0以上
硬度 (HDD)	80以上	86	86	80以上	80以上

・EP-1200P

項目	規格値	試験値		NEXCO 規格	国土交通省 規格
		夏用	冬用		
比重 (硬化物)	1.25 ± 0.15	1.31	1.37	1.2 ± 0.2	1.2 ± 0.2
圧縮強さ (N/mm²)	60以上	66.2	68.4	50以上	50以上
圧縮弾性係数 (N/mm²)	1000以上	1860	2160	1000以上	1000以上
曲げ強さ (N/mm²)	40以上	62.8	64.6	40以上	40以上
引張強さ (N/mm²)	20以上	41.0	37.9	20以上	20以上
引張剪断強さ (N/mm²)	15以上	24.0	22.8	10以上	10以上
衝撃強さ (kJ/m²)	3.0以上	5.0	6.4	1.5以上	3.0以上
硬度 (HDD)	80以上	85	85	80以上	80以上

※試験値は、(一財)化学物質評価研究機構による試験データです

※衝撃強さ(シャルピー)は、エポキシ樹脂単体で測定

■アンカー仕様

・EP-1200

使用 異形棒鋼 呼び径 (mm)	穿孔条件 径×深さ (mm)	必要樹脂量		許容引張荷重 (kN)	降伏荷重 (kN)	引張破断荷重 (kN)
		(mℓ)	(g)			
D16	26×240	96	111	39.7	68.5	97.3
D19	30×290	146	169	57.3	98.8	140.3
D22	32×330	165	191	77.4	133.5	189.6
D25	35×380	208	241	101.3	174.8	248.2
D29	40×440	324	376	128.4	221.6	314.7
D32	42×480	341	396	158.8	273.9	389.1
D35	45×530	403	467	191.3	330.0	468.7
D38	48×570	458	531	228.0	393.3	558.6
D41	52×620	583	686	268.0	462.3	656.6
D51	62×770	917	1064	405.4	699.3	993.2

・EP-1200P

使用 異形棒鋼 呼び径 (mm)	穿孔条件 径×深さ (mm)	必要樹脂量		許容引張荷重 (kN)	降伏荷重 (kN)	引張破断荷重 (kN)
		(mℓ)	(g)			
D10	20×150	43.7	54.6	14.3	21.0	31.4
D13	23×195	67.6	84.5	25.3	43.7	62.1
D16	26×240	96	120	39.7	68.5	97.3
D19	30×290	146	183	57.3	98.8	140.3
D22	32×330	165	206	77.4	133.5	189.6
D25	36×380	233	291	101.3	174.8	248.2
D29	40×440	324	405	128.4	221.6	314.7
D32	42×480	341	426	158.8	273.9	389.1
D35	46×530	449	561	191.3	330.0	468.7
D38	48×570	458	573	228.0	393.3	558.6
D41	52×620	583	729	268.0	462.3	656.6
D51	62×770	917	1146	405.4	699.3	993.2

※穿孔条件は土木に使用される例を示しました。

※異形棒鋼の各強度は、土木用としてSD345を示しました。またボルトの各強度は全ネジボルト用としてSS400を示しました。

※必要樹脂量はロス率20%での計算値です。

使用 ボルト 呼び径 (mm)	穿孔条件 径×深さ (mm)	必要樹脂量		許容引張荷重 (kN)	降伏荷重 (kN)	引張破断荷重 (kN)
		(mℓ)	(g)			
M10	20×150	46.1	57.6	8.1	13.6	23.2
M12	22×180	63.9	79.9	11.8	19.8	33.7
M16	26×240	108	135	21.9	36.8	62.8
M20	30×300	166	208	34.3	57.5	98.0
M22	32×320	193	241	42.4	71.2	121.2
M24	34×340	227	284	49.4	82.9	141.2
M27	38×380	308	385	64.2	107.8	183.6
M30	40×400	334	418	78.5	131.8	224.4
M33	44×440	436	545	97.1	163.0	277.6
M36	46×460	466	583	114.3	191.9	326.8

※穿孔条件は土木に使用される例を示しました。

※異形棒鋼の引張強度は、土木用としてSD345(D10のみSD295A)を示しました。またボルトの引張強度は全ネジボルト用としてSS400を示しました。

※必要樹脂量はロス率20%での計算値です。

土木・建築用エポキシ樹脂 ボルトメイトエポシール ES-2000



ボルトメイトエポシールES-2000は、注入用エポキシ樹脂ボルトメイトエポEP-1200のシール材として使用できる粘土状手練りタイプのエポキシ樹脂です。

特長

- 注入作業時のシール効果に優れ、液漏れ等は殆どありません。
- 物理的、機械的強度に優れています。
- 無溶剤タイプで100%硬化し、ほとんど収縮せず充填接着に優れています。
- 硬化物は、耐水性、耐薬品性など耐久性に優れています。

適用例

- アンカー注入用シール材
- コンクリートのクラック補修
- コンクリート同士の接着

規格
特性

■性状

	主 剂	硬 化 剂
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
外観	白色パテ状	灰色パテ状
混合比	主剤:硬化剤=1:1	

■品番

	品番	容量
夏用	ES-2000S	5kg
冬用	ES-2000W	5kg



エポキシ注入により鉄筋を定着する場合
のシール材



鋼板巻立て工法用シール材

■硬化物物性

項目	単位	規格値
比重(硬化物)	—	1.7 ± 0.2
可使時間	分	60以上
圧縮強さ	N/mm ²	49以上
圧縮弾性係数	N/mm ²	1000以上
曲げ強さ	N/mm ²	34以上
引張強さ	N/mm ²	20以上
引張せん断強度	N/mm ²	10以上
シャルピー衝撃強さ	kJ/m ²	1.5以上
硬度	HDD	80以上

*標準硬化養生: 23°C × 7日間 (JIS Z 8703に準拠)

接着系あと施工アンカー(現場調合式注入タイプ)
「エポキシ樹脂」

ボルトメイトエポ EP-450

水中施工にも対応する作業性に優れた 現場調合式注入型接着系アンカー

ボルトメイトエポEP-450は、エポキシ樹脂の主剤と硬化剤を現場で調合し施工する注入式の接着系あと施工アンカーです。主剤容器に硬化剤を加え攪拌・混合するだけで使用できる簡単さと、低粘度による良好な作業性を持っています。また、湿潤面だけでなく完全な水中にあっても優れた接着性を発揮します。



特長

- 攪拌・混合は主剤容器を手に持って振るだけで、特別な器具は必要ありません
- 低粘度でさらにノズル付き容器で小径孔にも注入が容易です
- 水中・海水中でも硬化し、充分な強度でアンカー筋を固着します
- 速硬化型で、エポキシ樹脂系接着剤としては短い時間で硬化します

適用例

- 水中・海中のあと施工アンカーエ
- 耐震補強壁
- 増築改修用差筋
- 設備・機器の設置
- 防音壁・ガードレールなどの道路付帯設備の設置
- 標識・看板取付け、ケーブル・パイプ支持

規格 特性

■性状

	主成分	外観	混合比
主剤	エポキシ樹脂	無色透明液状	主剤:硬化剤=5:2 (重量比)
硬化剤	変性ポリアミン	淡黄色透明液状	

■可使時間と硬化時間

	5 °C	10 °C	20 °C	25 °C	30 °C
可使時間	60 分	35 分	10 分	7 分	5 分
初期硬化時間	18 時間	12 時間	6 時間	4 時間	2 時間
硬化時間	7 日間	5 日間	72 時間	48 時間	24 時間

■梱包形態

セット内容		梱包単位
主剤	206 (mL)	20 セット/箱
硬化剤	94 (mL)	

※可使時間は、雰囲気、母材、樹脂、アンカー筋の中で最も高い温度、硬化時間は最も低い温度を目安にしてください

※初期硬化時間(最大強度の約25%が発現する時間)内はアンカー筋に触れないでください

※5°C未満では硬化しない恐れがありますので、使用しないでください

■アンカーリンク

使用異形棒鋼 呼び径	穿孔条件 径×深さ (mm)	必要樹脂量 (mL)	施工可能本数 (本/セット)	許容引張荷重 (kN) ^{注1}		降伏荷重 (kN) $As \times 345 \text{ N/mm}^2 \times 10^{-3}$
				長期	短期	
D10	13 × 90	7	42	15.6	23.4	12.8*
D13	16 × 100	9	33	19.5	29.3	22.8*
D16	20 × 130	18	16	32.8	49.2	39.7
D19	25 × 190	47	6	68.81	103.21	57.3
D22	30 × 220	84	3	92.64	138.96	77.4
D25	34 × 250	120	2	118.11	177.17	101.3
D29	38 × 290	171	1	135.58	203.38	128.4
D32	42 × 320	227	1	150.59	225.89	158.8

使用ボルト 呼び径	穿孔条件 径×深さ (mm)	必要樹脂量 (mL)	施工可能本数 (本/セット)	許容引張荷重 (kN) ^{注1}		降伏荷重 (kN) $As \times 235 \text{ N/mm}^2 \times 10^{-3}$
				長期	短期	
M10	12 × 90	6	50	15.4	23.19	8.1
M12	14.5 × 100	10	30	19.2	28.8	11.8
M16	19 × 130	20	15	32.63	48.94	21.9
M20	24 × 200	50	6	75.46	113.19	34.3
M22	28 × 220	83	3	91.90	137.85	42.4
M24	32 × 240	130	2	109.96	164.94	49.4
M27	34 × 270	146	2	126.14	189.21	64.2
M30	38 × 300	206	1	140.13	210.20	78.5

注1: 許容引張荷重は基準穿孔条件における当社算定式を用いた $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$ の場合のコンクリート破壊により決まる算定値です

※異形棒鋼の許容引張荷重および降伏荷重は、D10・D13(*部)はSD295A、その他のSD345を示しました。またボルトの許容引張荷重および降伏荷重は全ネジボルト用としてSS400を示しました

※必要樹脂量はロス率20%での計算値です

接着系あと施工アンカー
(カートリッジ式注入タイプ)「セメント系」

MKロック

無機系のカートリッジ注入型接着系

あと施工アンカー

熱に強く、VOCガスや臭いの発生もありません

MKロックは、セメント材料を専用ガンで注入・施工するカートリッジ式の無機系あと施工アンカーです。専用機器を用いて攪拌するため安定した品質が得られます。各種アンカーフィラメントの固着作業が可能で、優れた初期、長期強度発現性、高い付着強度を有しています。



特長

- セメントベースのため、不燃です。有機系に比べ、優れた耐熱性能を発揮します
- VOCガスや臭いの発生もありません
- ゴミ削減…ホルダーを使い回して利用できるため、従来のカートリッジタイプに比べ、現場でのゴミを減らせます
- ボルト(または異形棒鋼)が手で挿入できるため、カプセルタイプでは施工困難であったU字筋、L字筋、インサートアンカーなどのあらゆる形状で使用が可能です。横向き/上向き施工にも対応できます。穿孔条件に自由度があり、あらゆるサイズに対応できます
- 水孔、湿潤孔にも対応できます
- 予め、定量の粉体と専用水が入っているため、現場での計量が必要ありません

適用例

- | | |
|--------------|-------------------|
| ■あと施工アンカー全般 | ■差筋アンカー(L型、J型、U型) |
| ■機械据え付け用アンカー | ■機械基礎アンカー |
| ■手摺・フェンス支持 | |

規格特性

使用ボルト 呼び径	穿孔径×穿孔長 (mm)	必要樹脂量 (ml)	カートリッジ 1本当たりの 施工本数(本)	許容引張荷重(kN)	
				長期	短期
M10	φ 14.5 × 80 L	11	27	10.12	15.18
D10	φ 14.5 × 80 L	9	33	10.12	15.18
M12	φ 14.5 × 100 L	10	30	15.33	23.00
D13	φ 16 × 105 L	10	30	17.01	25.52
M16	φ 19 × 130 L	20	15	25.93	38.90
D16	φ 20 × 130 L	18	16	26.11	39.16
M20	φ 24 × 160 L	40	7	39.42	59.12
D19	φ 25 × 155 L	38	7	37.35	56.03
M22	φ 28 × 180 L	68	4	50.13	75.19
D22	φ 28 × 180 L	50	6	50.13	75.19
M24	φ 30 × 200 L	85	3	61.59	92.38
D25	φ 32 × 200 L	72	4	62.12	93.19
M30	φ 38 × 240 L	166	1	89.33	134.00
D29	φ 38 × 240 L	142	2	89.33	134.00
D32	φ 42 × 260 L	185	1	105.13	157.69

*許容引張荷重は上記穿孔条件における当社算定式を用いた $F_c=21 \text{ N/mm}^2$ の場合のコンクリート破壊により決まる算定値です

*M30およびD32よりも大きいサイズについてはメーカーまでお問い合わせください。なお、穿孔長が300 mmより長い場合も、メーカーまでお問い合わせください

*必要樹脂量はロス率20%での計算値です

■可使時間と硬化時間

温度	5 °C	10 °C	20 °C	30 °C	35 °C
可使時間	15 分	20 分	20 分	15 分	10 分
硬化時間	15 時間	12 時間	5 時間	3 時間	2 時間

*可使時間：攪拌混合開始から専用ガンで吐出可能な時間

*硬化時間：攪拌混合開始から荷重がかけられるまでの時間(可使時間から硬化時間の間はボトルまたは異形棒鋼に触れないでください)

透水性型枠用シート アバノン

・新技術情報提供システム (NETIS) 登録番号 : KK-140008-VE

コンクリート表面のあばたを防止し、耐候性を向上させます

アバノンは、コンクリート中の余剰水と気泡を通過させる「透水シート（織布）」と、透過したものを速やかに型枠外に排出させる「排水シート（不織布）」を、特殊な接着工程により貼り合せた一枚構造の透水性型枠用シートです。

コンクリート表面付近の強度が増加し、表面に緻密な層ができる耐久性の向上がはかれます。

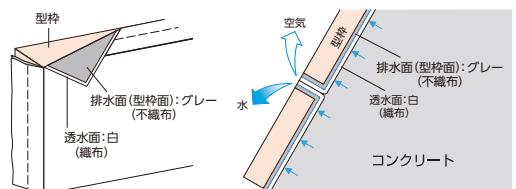
特長

- 表面あばたの発生を防止できます
- コンクリート表面の耐久性を向上させます
- 既存の型枠に穴を開けずに利用でき、合板型枠には工業用ホッチキスで貼付できます
- 鋼製型枠に適用する場合は、使用検討時に当社営業担当者までお問合せください
- 転用可能で経済性に優れています

注) コンクリート表面に生じる色むら抑制効果は期待できません。

適用例

- | | |
|--------------------|----------|
| ■コンクリート擁壁 | ■高架橋高欄 |
| ■橋梁主桁部 | ■ダムの堤体 |
| ■法面保護コンクリート工 | ■橋脚 |
| ■建築工事 | ■コンクリート橋 |
| ■トンネルインバート部、下部アーチ部 | |



規格・特性

品番	ABANON SHEET	
	透水シート：織布 (コンクリート面)	排水シート：不織布 (型枠面)
色	白	グレー
素材	ポリエチレン	ポリプロピレン
幅	1 m, 2 m	
長さ		25 m
厚さ		0.6 mm
質量		260 g/m以上

■コンクリート表面のあばた率

種類	ハンチ部角度	位置	あばた率 (%)
アバノン	30°	ハンチ部	0.00
	45°		0.12
合板型枠	30°		8.63
	45°		7.94

あばた率 = 表面あばた (直径 5 mm以上) 面積 / コンクリート表面積

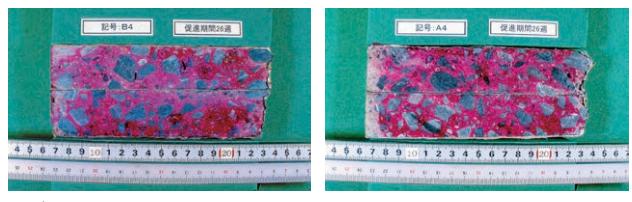
コンクリート表面状況 (ハンチ部角度 30°)



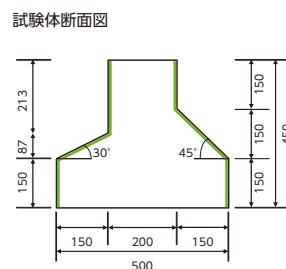
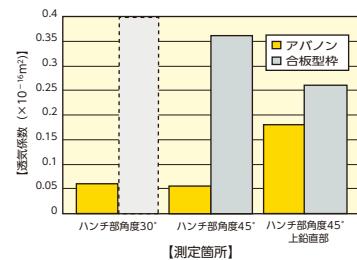
■コンクリートの促進中性化試験結果

促進期間	中性化深さ (mm)			
	合板型枠 : ハンチ部角度		アバノン : ハンチ部角度	
	30°	45°	30°	45°
0 週: 材齢 28 日	0.1	0.1	0	0
13 週	12.3	9.7	0	0
26 週	16.9	13.6	0.3	0

促進材齢 26 週後の中性化深さ (ハンチ部角度 30°)



・透気性 (エアパーマテスト (トレント法))



※合板型枠「ハンチ部角度 30°」は、あばたが多く測定不能



高知県 平成 24 年 仁ノ海岸堤防改良工事

テープ・接着剤製品

(スリーエムジャパン株式会社の商品です)

床版面には！

3M™ コンクリート給水養生用 水搬送シート 1117

3Mのマイクロレプリケーション(高精細表面技術)を利用した繊細な溝で水を搬送することで、簡単確実な養生を実現するシートです。



基材	特殊ポリオレフィン
厚さ	0.40 mm
製品形態	ロール状
製品サイズ	1000 mm×50 m
入れ目	1巻/外箱

NETIS登録番号
TH-150016-A

立面・天井面には！

3M™ コンクリート保水養生テープ 2227HP/2227HPW(強粘着タイプ)

型枠を取り外した後のコンクリート表面に貼り付けることで、表面からの水分蒸発を大幅に抑制し、効果的に保水養生するテープです。テープの粘着力だけで簡単に貼付でき、ほとんど糊残りなく、容易に剥がせます。



基材	特殊ポリオレフィン
厚さ	0.11 mm
製品形態	ロール状
製品サイズ	400 mm×50 m, 610 mm×50 m
入れ目	610 mm幅(1巻/箱)、400 mm幅(2巻/箱)

NETIS登録番号
CB-110014-VE

3M™ コンクリート型枠ジョイント止水テープ 2237

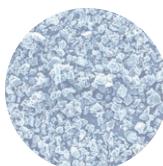
仕様

製品構成	SAP層/基材(オレフィン)層/粘着層
厚さ	380 μm(ライナー100 μmを含む)
製品形態	ロール状
製品サイズ(幅×長さ)	30 mm×50 m ※その他のサイズはお問い合わせください。
構造	 <ul style="list-style-type: none"> ← SAP層 ← 基材(オレフィン)層 ← 粘着層
入れ目	5巻/中箱、40巻/外箱

※各種数値は参考値であり、保証値ではありません

特長

- SAP(高分子吸収体)の吸水機能により、簡易にノロ止めし、砂目地を抑止
- 吸水コーティング層:SAP(高分子吸収体)
高分子吸収体の粒子はすみやかに吸水し、体積約400倍に膨潤します



表面の拡大写真



施工例 国交省の案件を中心に、NEXCO、地方自治体など複数の施主様の案件で実績があります



橋桁



壁高欄



橋脚



トンネル壁面



耐震補強・コンクリート巻き立て工



施工例



建築構造物

取り扱い上の注意

●貼付期間は最長3ヶ月以内を目処としてください ●なるべく脱型直後に貼り付けてください ●表面状態によっては貼り付きにくい箇所があります

新製品

無機系あと施工アンカー 注入方式カートリッジ型 MKロック MK-1300

特長

- セメントベースのため、不燃。
有機系に比べ、優れた耐熱性能を発揮。
- VOCガスや臭いが発生しない。
- 予め、定量の粉体と専用水が入っているため、現場での計量が不要。
- 穿孔条件に自由度があり、あらゆるサイズに対応可能。
- 横向き／上向き施工にも対応可能。
- 湿潤孔にも対応可能。
- ボルト（または異形棒鋼）が手で挿入出来、カプセルタイプでは施工困難であったJ字筋、L字筋、インサートアンカーなどのあらゆる形状での使用が可能。



● MK-1300セット(練上り量: 1300 mL)

内容

- | | |
|---------|-------|
| ・カートリッジ | ・粉体① |
| ・ピストン | ・粉体③ |
| ・接続ノズル | ・専用水② |

材料の品質(例)

項目	規格値
圧縮強度	1日 35N/mm ² 以上
	28日 50N/mm ² 以上
項目	測定値
圧縮強度*	20.7N/mm ²

*試験条件: M16, φ 19 × 80mm

別売品



- 専用攪拌棒: MK-1300K
- エーガン: MK-1300-GA
- 電動ガン: MK-1300-GB
- 電動ガンセット: MK-1300-GB-SET
- 電動ガンフルセット: MK-1300-GB-FS
- 攪拌台: MK-1300-GB-K
- ホースセット(φ 18 × 21.10m, ホースバンド×10個): MK-1300-N

※別途、回転工具*が必要です。

*ドライバドリル、電気ドリル、振動ドリルのいずれか。ただし、インパクトドライバは使用できません。



NETIS KK-220062-A

充填量管理補助具
「イージープラグ」

充填量管理補助具との併用で、
内容物のロス低減、作業効率
向上、施工品質向上に寄与し
ます。イージープラグは(株)ト
ラストの商品です。

規格 特性

■可使時間と硬化時間

温度	5 °C	10 °C	20 °C	30 °C	35 °C
可使時間	30 分	25 分	20 分	15 分	10 分
硬化時間	15 時間	12 時間	5 時間	3 時間	2 時間

*夏場は専用水を冷却するなどの処置を行い、混合物温度が35°Cを超えないようにしてください。

*可使時間: 攪拌混合開始から専用水が吐出可能な時間。この時間までにアンカー筋の挿入を終えてください。

*硬化時間: 攪拌混合開始から荷重をかけられるまでの時間(可使時間から硬化時間の間はボルトまたは異形棒鋼に触れないでください)。

*可使時間は混合物温度、硬化時間は旁囲気温度を基準にしてください。

■施工仕様(例)

アンカー筋 呼び径	穿孔径 (mm) × 穿孔長 (mm)	必要樹脂量 (mL)	許容引張荷重 (kN)	
			長期	短期
M16	φ 26 × 240 L	108	85.4	128
D16	φ 26 × 240 L	96	85.4	128
M20	φ 30 × 300 L	167	132	198
D19	φ 30 × 285 L	144	120	180
M22	φ 32 × 330 L	199	159	239
D22	φ 32 × 330 L	166	159	239
M24	φ 34 × 360 L	240	189	284
D25	φ 35 × 375 L	205	205	308
M30	φ 40 × 450 L	376	295	442
D29	φ 40 × 435 L	321	276	414
M33	φ 44 × 495 L	491	357	535
D32	φ 42 × 480 L	341	335	503
M36	φ 46 × 540 L	548	423	635
D35	φ 45 × 525 L	400	400	600
M39	φ 50 × 585 L	694	497	746
D38	φ 48 × 570 L	458	471	707
M42	φ 53 × 630 L	822	576	864
D41	φ 53 × 615 L	640	550	825
M45	φ 56 × 675 L	934	660	990
D51	φ 65 × 765 L	1186	850	1270
M48	φ 58 × 720 L	1013	750	1120
M52	φ 62 × 780 L	1179	879	1310
M56	φ 65 × 840 L	1299	1010	1520

*許容引張荷重は上記穿孔条件における当社算定式を用いたコンクリート破壊($F_c = 21\text{N/mm}^2$ 時)により決まる算定値です。

*その他の施工仕様についてはお問い合わせください。

*必要樹脂量はロス率20%での計算値です。

前田工織株式会社

東京本社／〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1

東京営業部 芝パークビルA館12F

TEL.03-6402-3944 FAX.03-6402-3945

福井本社／〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3

福井営業部 TEL.0776-51-9200 FAX.0776-51-9236

札幌支店／TEL.011-733-3360 FAX.011-733-3365

仙台支店／TEL.022-726-6670 FAX.022-726-6671

名古屋支店／TEL.052-971-8020 FAX.052-971-8021

大阪支店／TEL.06-4256-1136 FAX.06-4256-1166

広島支店／TEL.082-262-5555 FAX.082-262-5565

四国支店／TEL.089-998-3577 FAX.089-998-3511

福岡支店／TEL.092-282-1033 FAX.092-282-1035

盛岡営業所／TEL.019-606-3386 FAX.019-606-3078

新潟営業所／TEL.025-250-7803 FAX.025-250-7806

金沢営業所／TEL.076-288-6077 FAX.076-288-6078

岡山事務所／TEL.086-805-0355 FAX.086-805-0357

鹿児島事務所／TEL.099-295-3226 FAX.099-295-3256

<https://www.maedakosen.jp/>

沖縄コーセン株式会社

本社／〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-10-16 沖縄バスビル2F
TEL.098-860-3404 FAX.098-860-3418

*本カタログの内容については、予告なく変更する事がありますのでご了承下さい。



MAEDAKOSEN

商品価格表 〈2023年9月改訂版〉

CONCRETE REINFORCEMENT

コンクリート構造物
補修・補強用資材

前田工織株式会社

東京本社／〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1

東京営業部 芝パークビルA館12F

TEL.03-6402-3944 FAX.03-6402-3945

福井本社／〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3

福井営業部 TEL.0776-51-9200 FAX.0776-51-9236

札幌支店／TEL.011-733-3360 FAX.011-733-3365

仙台支店／TEL.022-726-6670 FAX.022-726-6671

名古屋支店／TEL.052-971-8020 FAX.052-971-8021

大阪支店／TEL.06-4256-1136 FAX.06-4256-1166

広島支店／TEL.082-262-5555 FAX.082-262-5565

四国支店／TEL.089-998-3577 FAX.089-998-3511

福岡支店／TEL.092-282-1033 FAX.092-282-1035

盛岡営業所／TEL.019-606-3386 FAX.019-606-3078

新潟営業所／TEL.025-250-7803 FAX.025-250-7806

金沢営業所／TEL.076-288-6077 FAX.076-288-6078

岡山事務所／TEL.086-805-0355 FAX.086-805-0357

鹿児島事務所／TEL.099-295-3226 FAX.099-295-3256

<https://www.maedakosen.jp/>

沖縄コーセン株式会社

本社／〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-10-16 沖縄バスピル2F
TEL.098-860-3404 FAX.098-860-3418

*本カタログの内容については、予告なく変更する事がありますのでご了承下さい。

C.2310.00.0103

